

科目区分	専門教育科目	科目名	領域「表現」の指導法 (実務家教員担当科目)		科目コード	20Y440	担当者	織田 芳人、本村 弥寿子			
対象学生	幼児教育学科 1年生	学期区分	後期		単位数	2	担当形態	複数			
		授業区分	演習								
科目		施行規則に定める科目区分又は事項等				卒業要件	必修				
領域及び保育内容の指導法に関する科目		保育内容の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)				免許・資格要件	幼稚園教諭選択必修、保育士必修				
科目の主題						学修成果との関連 (大◎、中○、小△)					
領域「表現」のねらい及び内容を理解し、それを踏まえた保育を構想する力を身に付ける。						1. 「 反心 」 誠実な人柄と 人間力	2. 「 創造 」 高度な知性と 創造力	3. 「 実践 」 明確な意思と 実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 表現力・創造断力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	領域「表現」のねらい及び内容を理解する。										
2.	領域「表現」に関わる様々な経験と、小学校以降の教科等のつながりを理解する。										
3.	乳幼児の心情、認識、思考及び動き等を考慮した保育を構想する。										
4.	模擬保育とその振り返りを通して保育を改善する視点を身に付ける。						○	◎	◎	○	
5.	領域「表現」の特性に応じた現代的課題や保育実践の動向を踏まえ、保育を構想する。					成績評価の方法と割合					
授業方法						発表内容 (50%) 提出物 (30%) 受講態度 (20%)					
教科書・参考書を元に講義を行い、そこでの学びを踏まえたグループ活動を進める。											
課題等への対応						授業外学修時間					
提出物を確認し、授業で紹介したり個別に対応したりしてフィードバックを図る。						30分					
回数	授業計画					学習課題 (予習・復習)					
第1回	オリエンテーション、保育における「表現」について					領域「表現」のとらえ方について教科書を読んで予習する。					
第2回	領域「表現」のねらいと内容、内容の取扱い					3法令に目を通し同じ部分違う部分を確認しておく。					
第3回	領域「表現」と「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」					3法令解説に目を通し、10の姿について予習する。					
第4回	領域「表現」と小学校との連携					3法令解説に目を通し、小学校との連携について予習する。					
第5回	領域「表現」と保育実践の検討					実践したい活動を選び、保育の流れを考えておく。					
第6回	保育指導案の立案と作成①					実践したい活動を授業を踏まえ指導案として書き上げる。					
第7回	保育指導案の立案と作成②					指導案をもとに流れを確認し準備を進めておく。					
第8回	模擬保育の実践①					模擬保育の準備及び反省をまとめておく。					
第9回	模擬保育の実践②					模擬保育の準備及び反省をまとめておく。					
第10回	模擬保育の実践③					模擬保育の準備及び反省をまとめておく。					
第11回	模擬保育の実践④					模擬保育の準備及び反省をまとめておく。					
第12回	模擬保育の振り返り					すべての模擬保育の反省をまとめる。					
第13回	保育計画の評価と改善					保育の反省の視点に沿って活動を振り返っておく。					
第14回	現代社会と子どもを取り巻く領域「表現」の課題					教科書に目を通し課題について理解しておく。					
第15回	総合討論「子どもと表現」					模擬保育をもとに「子どもと表現」について考えをまとめておく。					
試験	定期試験を実施しない										
教科書	新しい保育講座11 保育内容「表現」 小林紀子、砂上史子、刑部育子 編著 ミネルヴァ書房				受講生へのメッセージ	子どもの感性や表現を豊かに育む環境や保育者の援助について、楽しみながら理解を深めましょう。					
参考書等	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領及びそれらの解説				実務経験に関する情報	①経験内容	元幼稚園教諭・小学校教諭				
						②科目との関連	幼稚園・小学校教諭としての業務経験を基に実務に即した指導を行う				